

6 5 昭和の名水百選（本県分）

名 称	所在地	水の形態	概 要
いで 出の山湧水	小林市	湧水	霧島山麓の湧水群の一つで、湧水量が約8万m ³ /日と豊富である。水道、水産養殖等の利用の他周辺は公園として保全整備が図られている。また、市やゲンジボタル自然保護会が、ホタルの生育環境の保全に努力している。
あや 綾川湧水群	綾町	湧水 河川	九州中央山地国定公園綾照葉樹林からの湧水と、その流れである。「清き流れの綾川を守る協議会」や地元住民が清掃等水質保全活動を行っている。

6 6 平成の名水百選（本県分）

名 称	所在地	水の形態	概 要
みようけん 妙見神水	五ヶ瀬町	湧水	「妙見神水」は、祇園山の麓の妙見神社にある石灰岩の隙間から大量に湧出している。古くから「四億年の雫」「授乳の神水」と呼ばれ、生活用水として重宝された。本湧水を水源とした水田は「日本の棚田百選」にも選定されている。

6 7 宮崎の名水

名 称	所在地	分類	概 要
ぎ 祇園山のわき水	五ヶ瀬町	湧水	祇園山の中腹の湧水。毎分10m ³ の水が湧き、主に農業用水として利用されている。
たま 玉垂の滝	高千穂町	湧水	高千穂峡沿いの岩肌に湧き、すだれのように流れ落ちている。上水道の水源や養魚場の水として利用されている。
ししがわ 鹿川溪谷の清流	延岡市 (旧北方町)	河川	おおくえ 大崩山山系を源とし、岩滑り、釣り、紅葉で親しまれている。
ほうり 祝子川（上流）の溪流	延岡市 (旧北川町)	河川	各所に急流や滝がある溪谷。春の新緑、夏のキャンプ、秋の紅葉など四季折々に親しまれている。
北川の清流	延岡市 (旧北川町)	河川	初夏にホタルの乱舞が見られ、住民が「ホタルの里」として保全活動を進めている。
むか 行 藤の沢	延岡市	河川	むかばき 行 藤山から流れ、「少年自然の家」を訪れた子どもたちが、沢登りやバードウォッチングなどの研修を行っている。
きじの 鬼神野溶岩溪谷の清流	美郷町 (旧南郷村)	河川	おまる 小丸川上流にあり、溶岩質の岩の間を流れている。キャンプ場等があり、付近の老人クラブによる保全活動が行われている。
おせりの溪流	美郷町 (旧西郷村)	河川	3段にわたって流れ落ちる神秘的な「おせりの滝」周辺にキャンプ場等がある。県の緑地環境保全地域として指定されている。

名 称	所在地	分 類	概 要
なぬき 名貫川（上流）の溪流	都 農 町	河 川	尾鈴山系を源とし、至るところで水遊びができ、「矢研の滝」をはじめとする大小30余りの滝の景観を楽しむことができる。
こ 湯 の 池	西 都 市	湧 水	コノハナサクヤヒメが3人の皇子の産湯をつかったことから「児湯郡」の名称が生まれたとの伝説がある湧水。
あいぞめ 愛染溪谷の清流	国 富 町	河 川	掃部岳を源とする深年川の上流部。豊かな原生林にかん養され、キャンプや釣りで親しまれている。
かえだ 加江田溪谷の清流	宮 崎 市	河 川	双石山と樹鉢山の間を流れる加江田川の中流域。キャンプやハイキングに親しまれ、「自然休養林」として指定されている。
で みず 出水観音池	えびの市	湧 水	出水観音堂そばに湧く湧水の池。地区の水源として、また野菜等を洗う生活用水として利用されている。
じん 陣 の 池	えびの市	湧 水	小高い丘に湧く湧水の池で、神秘的な趣がある。地区のかんがい用水に利用され、住民による保全活動がなされている。
せん だん 千 谷 の 池	小 林 市	湧 水	霧島山麓の湧水群の一つで、1日5～6万m ³ の湧出量がある。農業用水や、養魚場の水として用いられている。
おう じ ぼる 皇子原湧水	高 原 町	湧 水	霧島山麓の湧水が、皇子原公園の中で、親水広場として整備され、親しまれている。
関 之 尾 の 清 流	都 城 市	河 川	庄内川の関之尾の滝上流部にある甌穴群の間を流れ、周辺にはキャンプ場等が整備されている。
はや みず 早水公園湧水	都 城 市	湧 水	早水公園の一角に湧く湧水で、周辺に万葉植物園があり、古代のロマンを感じさせる。
いの は え 猪八重溪谷の清流	日 南 市 (旧北郷町)	河 川	猪八重川の溪谷。遊歩道に沿ってのハイキングで、「五重の滝」をはじめとする色々な滝を楽しむことができる。
よ わら 榎原湧水	日 南 市 (旧南郷町)	湧 水	国道220号線沿いに湧く。地区の水源や酒づくりの水として利用され、直接水とふれあえる「水あそび場」が設けられている。
赤 池 溪 谷 の 清 流	串 間 市	河 川	大矢取川上流の溪谷。浸食された溶結凝灰岩の間を清流が流れ、「赤池滝」となって流れ落ちる。キャンプ、紅葉が楽しめる。